

**【施策評価調査】**

施策名	3-1-2	環境保全に取り組む人材の育成		96	政策「3-1.自然環境の保全と創造」を実現するためには、高根沢町が守るべき自然環境とは何か？、またどのようにして高根沢町の自然環境を創造していくべきか？というビジョンを明確にし、ルール化で明確にしたビジョンを実現できる人材の育成で明確にしたビジョンを確実に運用できる仕組み作り...という3点からのアプローチが必要です。 この施策は、この観点から政策を実現させるために設定しました。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	住民生活部環境課	担当 リーダー	環境担当 金澤公二		自然環境基礎調査(指標生物調査)や環境基本計画の策定、「エコ・ハウスたかねざわ」における地球温暖化対策、省エネルギー教室などの環境学習、自然の素材を使った工作教室など体験メニューの開発・実施に携わる住民を、地域の環境保全活動のリーダーや環境学習の指導員として育成します。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化	木や竹などの自然素材によるものづくりグループ「木楽倶楽部」を発足、「マイ箸づくり」や木工教室の指導者、ボランティアとして活動してもらっています。				

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：環境学習・体験指導員の登録者(人)	平成16年度	計画	10人	20人	30人	40人	50人
	0人	実績	5人	10人	16人		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	10,000,000	10,000,000	10,000,000		
	決算	10,000,000	10,000,000	10,100,365		

**事務事業事後評価 20年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
エコ・ハウスたかねざわ運営管理費 再掲	当初 10,000,000	施設開館日数	A	「マイ箸」を作りやりリユース食器貸出し事業等積極的に新規事業に取り組むほか、既存の事業についても様々なPR活動を通じ、エコハウスの事業を周知でき利用者も年々増加しています。今後も継続し環境への関心を高める事業を展開していきます。			
	決算 10,289,365	303 / 306日		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

**施策事後評価 20年度の検証**

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	木や竹などの自然素材によるものづくりグループ「木楽倶楽部」を発足、「マイ箸づくり」や木工教室の指導者、ボランティアとして活動してもらっています。	各種体験教室等の指導者となってくれるボランティアの方(グループ)が数多く募集できれば、既存の体験教室の数を増やしたり、新たな教室の開設が可能になってくると思われます。
総合評価	■ <b>総合評価</b> ■ 継続的に施策展開が行われていると評価する。 後期計画策定に向け、エコ・ハウスを前面に押し出した施策展開をしてきた中で、これまでの取組みを検証し、町が行うことより、エコ・ハウスが行うことで、より成果が上がったり、効率が図られるような施策展開をするなど、広い視点を持った施策展開を期待する。	